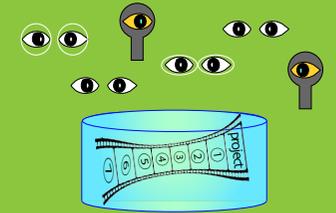


ファイルサーバーの映像プロジェクト、セキュリティーはどうしてますか？



ストレージ

Tiger SPACES



Projects

P-A

P-B

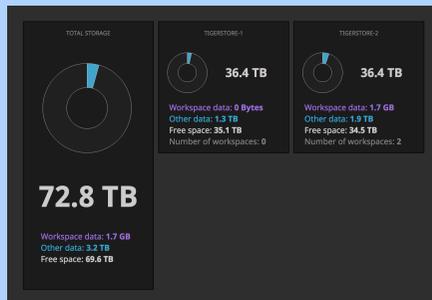
▲ プロジェクト毎のストレージ

▲ プロジェクトデータの不可視化

Tiger Spaces は大容量共有ストレージ内に保存されたプロジェクトを管理し、プロジェクトフォルダーを他のユーザーに対し不可視化します。従って、ストレージにアクセス可能なユーザーでも、Tiger Spaces によってアクセスを許可されていないユーザーはプロジェクトフォルダーの存在を確認することができません。

▲ プロジェクトを仮想ストレージに

Tiger Spaces は指定されたプロジェクトフォルダーをクライアントやアプリケーションからはストレージボリュームとして認識される様に仮想化します。プロジェクトの名前をつけたボリュームに対し、Tiger Spaces はストレージ容量を割り当て、管理します。



▲ プロジェクトのセキュリティー管理

▲ ストレージデバイス間でのプロジェクトデータの移動が簡単

Tiger Spaces が管理するプロジェクトはローカルストレージでも、ネットワークストレージでもデバイス間でその保存場所移動することができます。アプリケーションからは、ファイルの物理的保存場所に関わらず、Tiger Spaces が提供するプロジェクトストレージのパスを指定することで継続的にアクセスすることが可能です。

▲ ユーザー / グループへのアクセス認証を行います。

Tiger Spaces はプロジェクトに対するアクセス権を管理します。プロジェクトに参加するメンバーの登録、その役割に応じたアクセス権（リード / ライト権、リード権）の設定が可能です。また、プロジェクトにアクセスしたユーザーのログイン、ログアウトの履歴を保存し、安全にプロジェクトデータを管理することが可能です。

User	Type	Role
Fuji	User	User
Izumaki	User	User
MIC	Group	User
Project A Team	Group	User
Project B team	Group	User
psadmin	User	Admin
Tanaka	User	User
Torigoe	User	User

▲ プロジェクトをローカルディスクとしてマウント



Project A ボリューム



Project B ボリューム

▲ プロジェクトに保存された映像をプロキシ化

リモートサイトから WebGUI で映像チェックが可能。

